

景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準（考え方）	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	<p>●背景との関係が読み取れる距離 ↓ 位置・規模を評価</p> <p>（目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20 倍 例) 高さ 50mの場合 距離 1,000m 程度）</p>	<p>●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げていないか。 	① 位置	/	遠景から見通せない。
			② 規模	/	遠景から見通せない。
			③ カライン	/	遠景から見通せない。
中景	<p>●建物の周辺の状況がわかる距離 ↓ 主要部位を評価</p> <p>（目安 100～500m程度）</p>	<p>●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。 	① 基調色	/	外壁 N9.5,N9,3.7Y8.4/1.5 屋根 0.46GY7.9/0.7
			② おおまかな形状	/	一部に高い部分があるが増築部分は低く、長方形である為、過剰に目立たない。
			③主要な付属物 〔屋上設備 屋上階段 ベランダ等〕	/	屋上設備はない。道路反対側の既存部分にベランダがあるが目立たない。
			④特殊な材料 (金属やミラーなど)	/	既存部分にステンレス鏡面や熱線反射ガラスを使用しているが一部であるので目立たない。
近景	<p>●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離 ↓ ディテールを評価</p> <p>（目安 50m程度）</p>	<p>●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。 	①壁面意匠 〔ファード意匠 側面の仕上げ 壁面設備〕	○	過度なデザインを行わず、シンプルで周辺と調和の取れたデザインとし、側面も同様に周辺に配慮している。
			③ 看板類	○	屋外広告物条例に適合している計画とする。
			③アクセントカラー	○	アクセントカラーは使用していない。
			④低層部の雰囲気	○	低層部はシンプルにする事で周辺との調和を図っている。
			⑤敷地利用 (緑化など)	○	既存敷地のため駐車場として使用している。
地点	<p>●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離 ↓ 道路際の造作を評価</p> <p>（目安 10m前後）</p>	<p>●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路敷が雑然としていないか。 ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。 	①低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	側面も含めて、シンプルで全体的に明るく、調和の取れたデザインとしている。 外壁は ALC および角波鉄板の鉄骨造
			②敷地のデザイン 〔敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど〕	○	地域固有の行事はない。 歩道はない。 既存建物のため道路際に配置しているが、少し後退しているので、圧迫感をなく、道路際と調和させている。